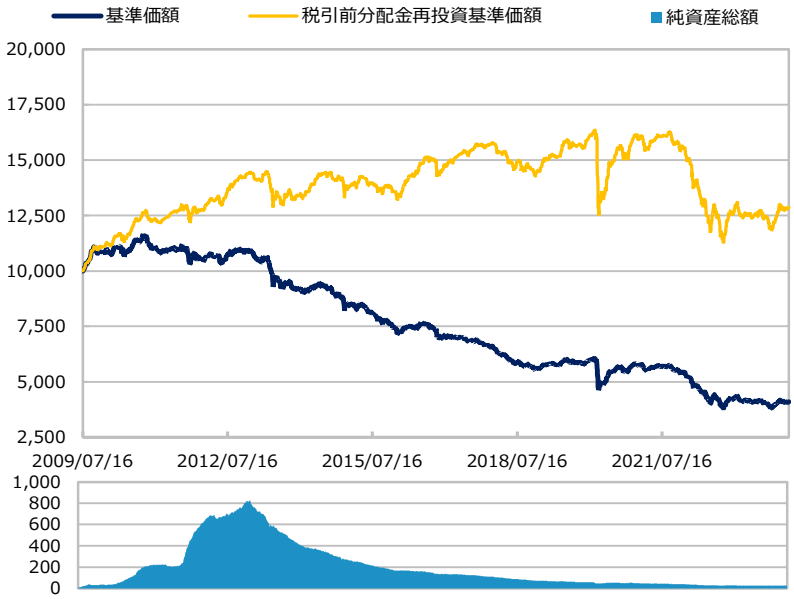
通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド 円コース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマ円

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	4,102	+8
純資産総額（百万円）	2,174	-53

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	0.6
3カ月	2023/11/30	2.8
6カ月	2023/08/31	2.9
1年	2023/02/28	2.3
3年	2021/02/26	-18.1
設定来	2009/07/17	28.8

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	15
第170期	2023/11/16	15
第171期	2023/12/18	15
第172期	2024/01/16	15
第173期	2024/02/16	15
設定来累計		9,295

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.5	+0.0
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	2.5	-0.0
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	-5.4	+0.6

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド JPY Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+46
為替	-17
分配金	-15
その他	-5
合計	+8

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

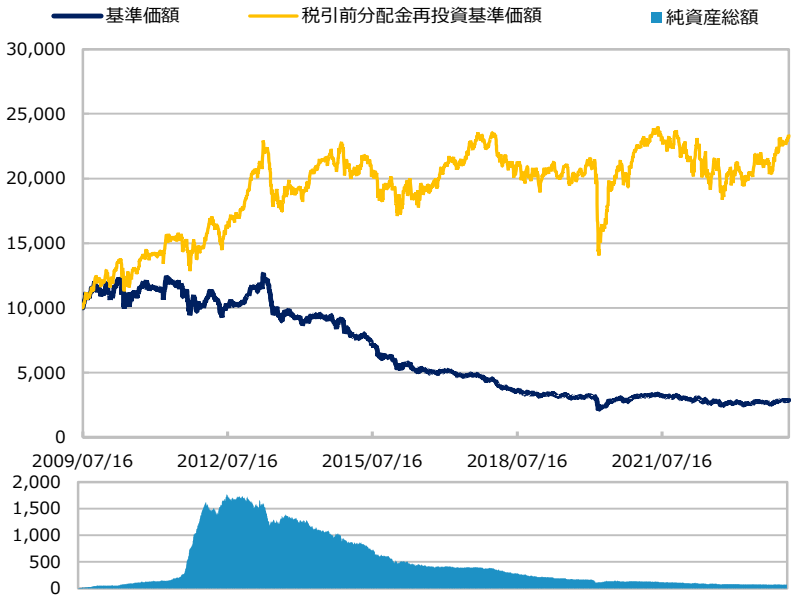
■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド 豪ドルコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマ豪

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	2,873	+32
純資産総額（百万円）	6,608	-87

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	1.5
3カ月	2023/11/30	4.1
6カ月	2023/08/31	8.2
1年	2023/02/28	13.4
3年	2021/02/26	-0.2
設定来	2009/07/17	132.1

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	10
第170期	2023/11/16	10
第171期	2023/12/18	10
第172期	2024/01/16	10
第173期	2024/02/16	10
設定来累計		15,300

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.5	+0.0
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	2.4	-0.0
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	-1.3	+0.2

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド AUD Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+30
為替	+16
分配金	-10
その他	-4
合計	+32

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

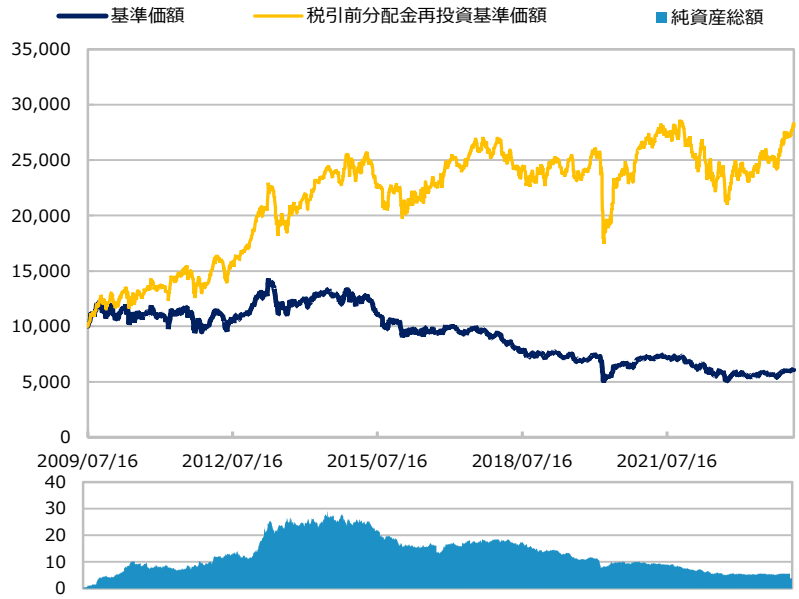
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド ニュージーランドドルコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマニ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	6,102	+109
純資産総額（百万円）	363	-172

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	2.4
3カ月	2023/11/30	5.2
6カ月	2023/08/31	10.7
1年	2023/02/28	17.2
3年	2021/02/26	2.0
設定来	2009/07/17	180.0

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	35
第170期	2023/11/16	35
第171期	2023/12/18	35
第172期	2024/01/16	35
第173期	2024/02/16	35
設定来累計		14,830

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.5	+0.0
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	2.4	-0.1
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	-0.6	-0.1

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド NZD Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+64
為替	+88
分配金	-35
その他	-8
合計	+109

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

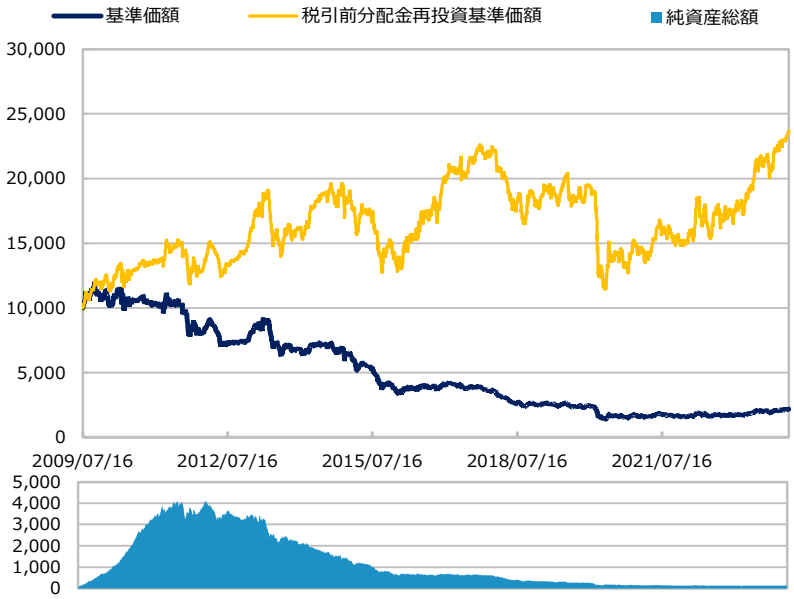
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマブ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	2,178	+64
純資産総額（百万円）	11,863	+143

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	3.5
3カ月	2023/11/30	6.1
6カ月	2023/08/31	9.8
1年	2023/02/28	31.4
3年	2021/02/26	68.0
設定来	2009/07/17	136.9

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	10
第170期	2023/11/16	10
第171期	2023/12/18	10
第172期	2024/01/16	10
第173期	2024/02/16	10
設定来累計		13,680

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.7	-0.0
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	2.3	+0.0
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	4.1	+0.4

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド BRL Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+23
為替	+54
分配金	-10
その他	-3
合計	+64

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

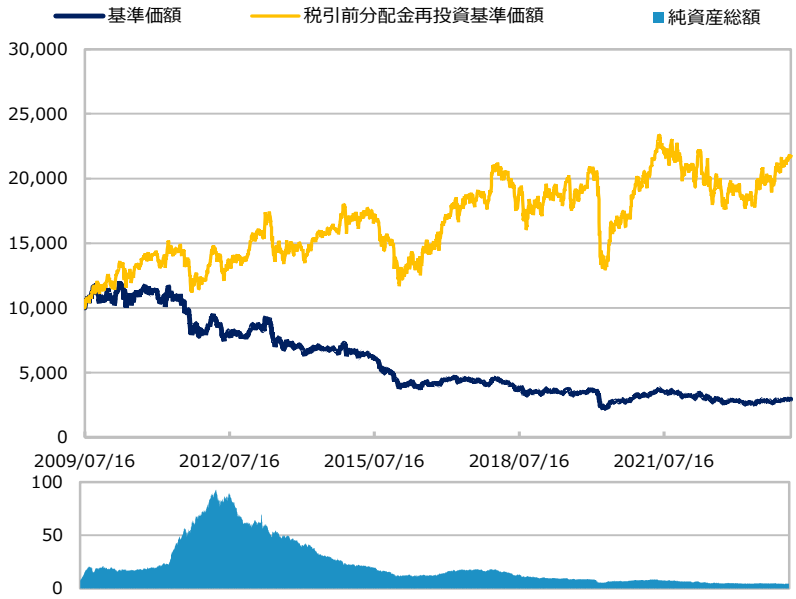
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド
南アフリカランドコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマ南

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	2,944	+17
純資産総額（百万円）	406	-1

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	1.1
3カ月	2023/11/30	3.9
6カ月	2023/08/31	6.9
1年	2023/02/28	17.2
3年	2021/02/26	8.7
設定来	2009/07/17	117.0

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	15
第170期	2023/11/16	15
第171期	2023/12/18	15
第172期	2024/01/16	15
第173期	2024/02/16	15
設定来累計		12,650

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.5	+0.1
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	2.4	-0.1
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	2.6	-0.9

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド ZAR Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+34
為替	+2
分配金	-15
その他	-4
合計	+17

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

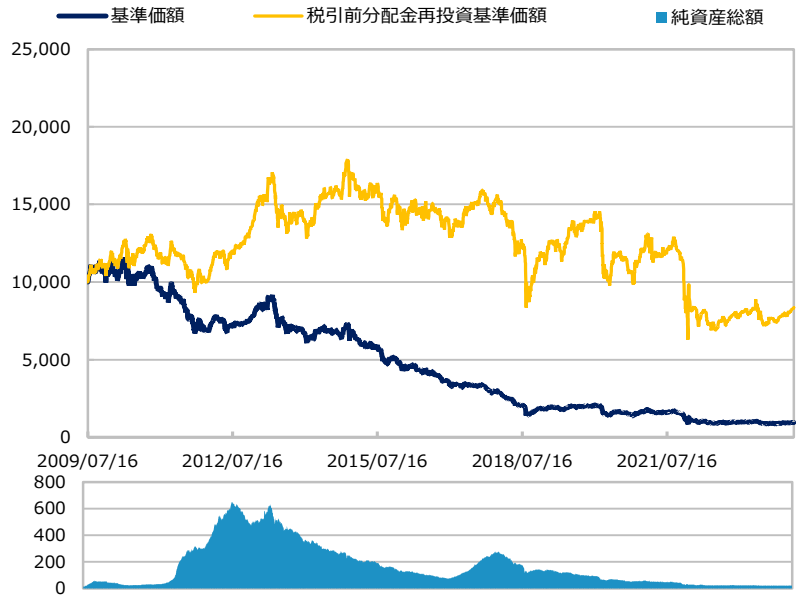
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド トルコリラコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日　　日経新聞掲載名：通エマト

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	961	+22
純資産総額（百万円）	1,933	+3

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	2.9
3カ月	2023/11/30	6.8
6カ月	2023/08/31	9.6
1年	2023/02/28	1.5
3年	2021/02/26	-33.5
設定来	2009/07/17	-16.5

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第169期	2023/10/16	5
第170期	2023/11/16	5
第171期	2023/12/18	5
第172期	2024/01/16	5
第173期	2024/02/16	5
設定来累計		11,465

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.6	+0.1
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	2.3	-0.1
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	36.7	-2.6

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド TRY Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+8
為替	+20
分配金	-5
その他	-1
合計	+22

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

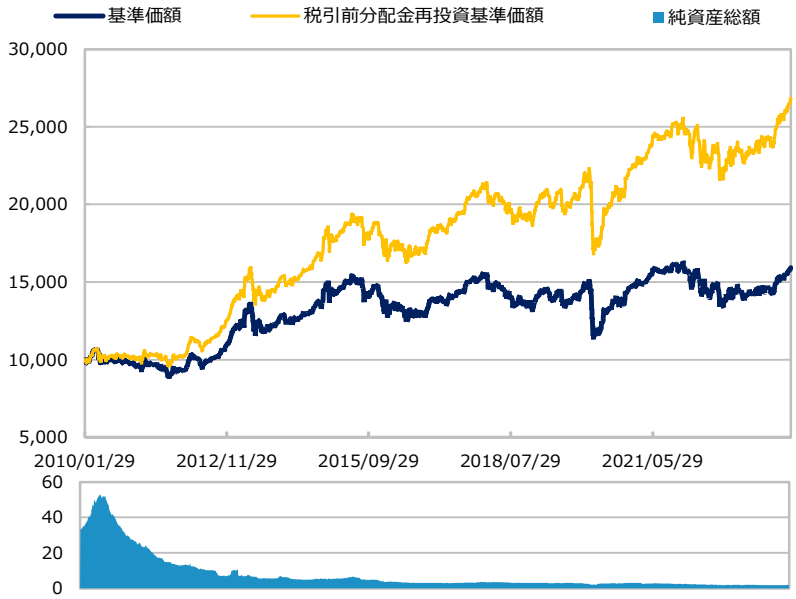
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド 中国元コース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2010年02月01日　　日経新聞掲載名：通エマ元

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	15,936	+357
純資産総額（百万円）	175	-10

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	2.6
3カ月	2023/11/30	5.1
6カ月	2023/08/31	10.6
1年	2023/02/28	14.8
3年	2021/02/26	18.0
設定来	2010/02/01	168.3

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第162期	2023/10/16	40
第163期	2023/11/16	40
第164期	2023/12/18	40
第165期	2024/01/16	40
第166期	2024/02/16	40
設定来累計		6,720

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.3	-0.2
マネー・ファンド	0.2	+0.0
現金等	2.4	+0.2
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	15.6	+5.1

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド CNY Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	-29
為替	+446
分配金	-40
その他	-20
合計	+357

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

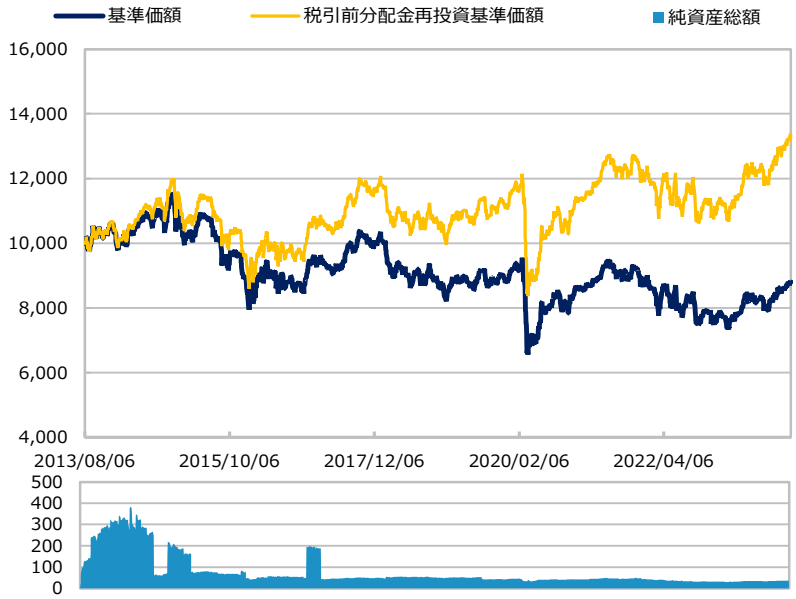
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド カナダドルコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2013年08月07日　　日経新聞掲載名：通エマカ

基準価額・純資産総額の推移（円・百万円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	8,795	+126
純資産総額（百万円）	36	+0

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	1.8
3カ月	2023/11/30	6.3
6カ月	2023/08/31	8.4
1年	2023/02/28	18.1
3年	2021/02/26	14.6
設定来	2013/08/07	33.1

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第122期	2023/10/16	30
第123期	2023/11/16	30
第124期	2023/12/18	30
第125期	2024/01/16	30
第126期	2024/02/16	30
設定来累計		3,720

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.2	-0.1
マネー・ファンド	0.1	-0.0
現金等	2.7	+0.1
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	-0.6	+0.1

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド CAD Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+89
為替	+78
分配金	-30
その他	-11
合計	+126

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

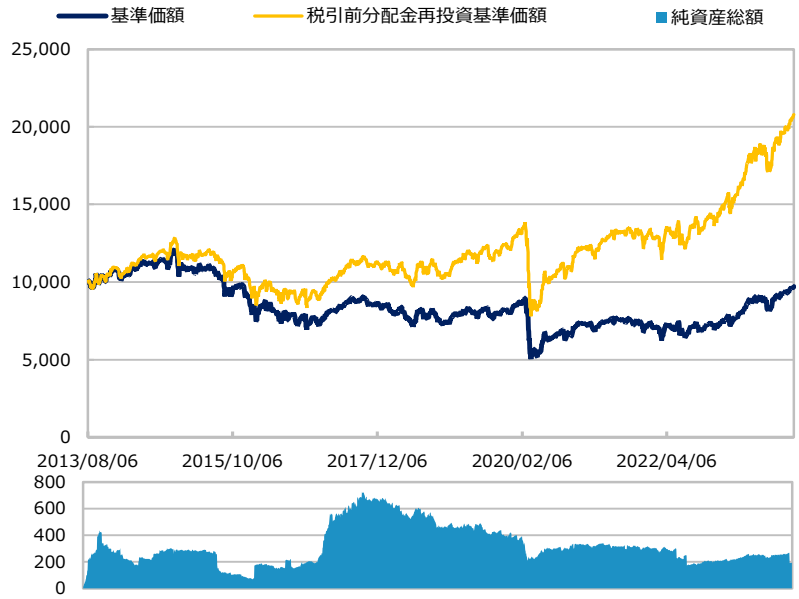
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド
メキシコペソコース（毎月分配型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2013年08月07日　　日経新聞掲載名：通エマメ

基準価額・純資産総額の推移（円・百万円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	9,710	+311
純資産総額（百万円）	190	-69

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	3.8
3カ月	2023/11/30	8.4
6カ月	2023/08/31	10.0
1年	2023/02/28	35.0
3年	2021/02/26	76.5
設定来	2013/08/07	107.8

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第122期	2023/10/16	50
第123期	2023/11/16	50
第124期	2023/12/18	50
第125期	2024/01/16	50
第126期	2024/02/16	50
設定来累計		6,200

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	78.9	-18.4
マネー・ファンド	0.3	+0.1
現金等	20.8	+18.3
合計	100.0	0.0
為替取引によるプレミアム/コスト	5.4	-0.3

※ 組入投資信託の正式名称は「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド MXN Class」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。
※ 為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出した値です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
債券	+147
為替	+227
分配金	-50
その他	-12
合計	+311

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

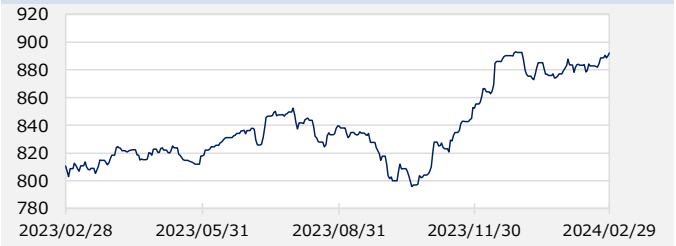
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

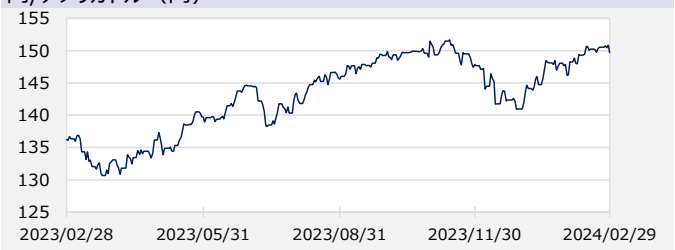
【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

市場動向

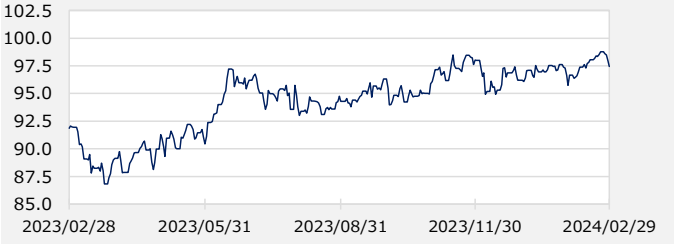
エマージング債券インデックス



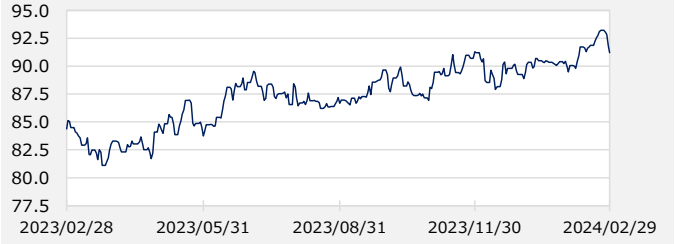
円/アメリカドル（円）



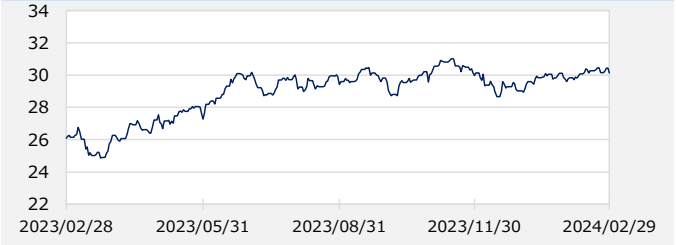
円/オーストラリアドル（円）



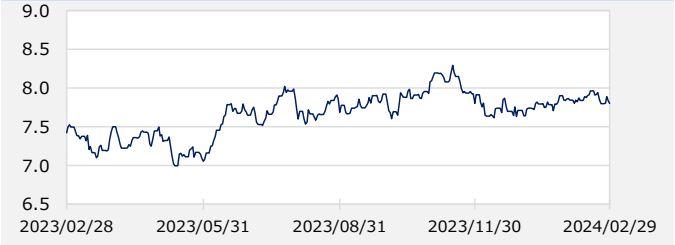
円/ニュージーランドドル（円）



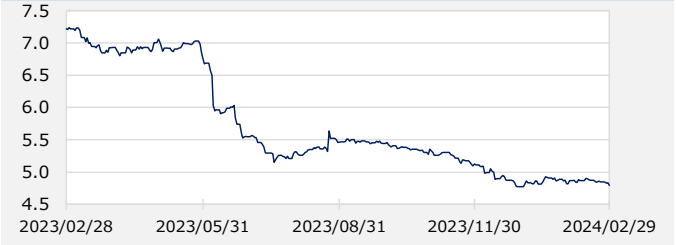
円/ブラジルレアル（円）



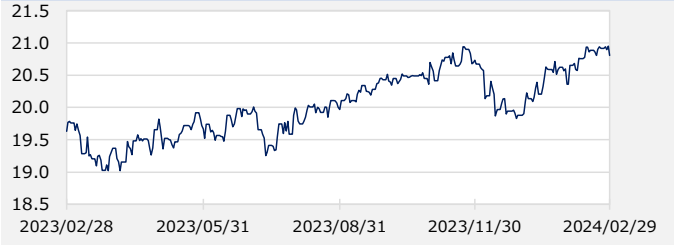
円/南アフリカランド（円）



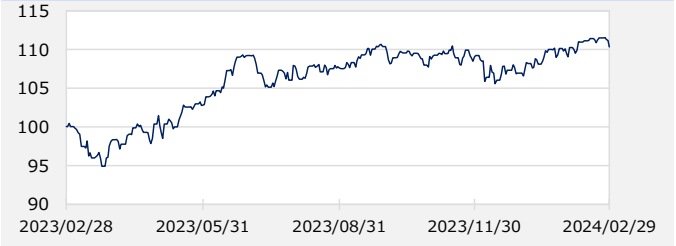
円/トルコリラ（円）



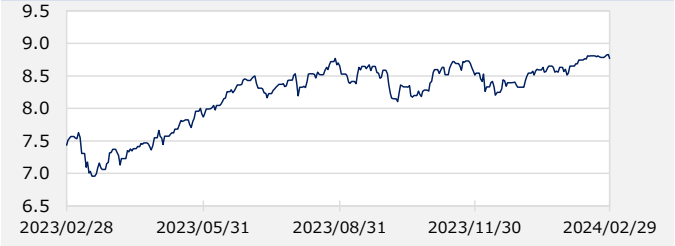
円/中国元（円）



円/カナダドル（円）



円/メキシコペソ（円）



※ エマージング債券インデックスはJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（アメリカドルベース）です。
※ 為替レートはWMリフィニティブが発表するスポットレートの仲値です。
※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」について、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

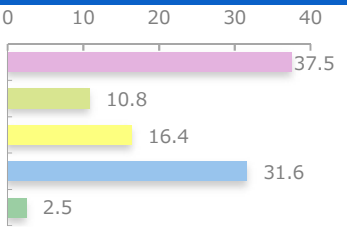
ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
デュレーション（年）	6.8	-0.1
直接利回り（%）	6.3	+0.2
最終利回り（%）	7.2	+0.4
平均格付け	BB+	BB+

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。
※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。
※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

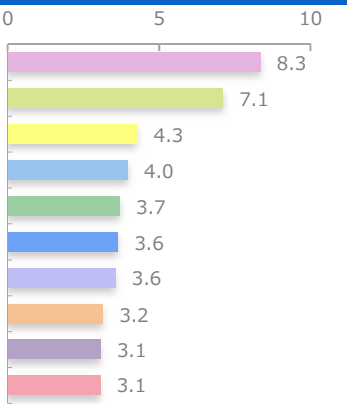
地域別構成比率（%）

	当月末	前月比
中南米	37.5	+0.9
欧州	10.8	+0.2
アジア	16.4	+0.5
中東・アフリカ	31.6	-0.4
その他	2.5	-0.3



組入上位10カ国（%）

		当月末	前月比
1	メキシコ	8.3	+0.6
2	インドネシア	7.1	+0.2
3	パナマ	4.3	+0.0
4	オマーン	4.0	+0.2
5	ブラジル	3.7	+0.2
6	ドミニカ共和国	3.6	+0.1
7	コロンビア	3.6	-0.6
8	トルコ	3.2	+0.5
9	サウジアラビア	3.1	-0.8
10	チリ	3.1	-0.3



組入上位３通貨（%）

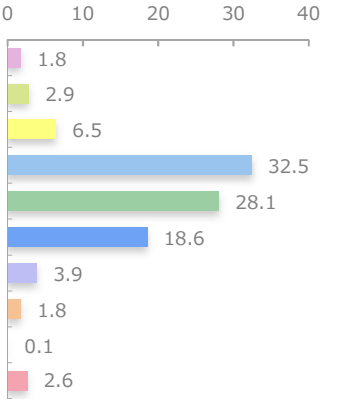
		当月末	前月比
1	アメリカドル	99.8	-0.1
2	ユーロ	0.1	+0.1
3	メキシコペソ	0.0	+0.0

種別構成比率（%）

	当月末	前月比
国債	80.7	+1.0
特殊債、社債等	18.2	-0.1

格付構成比率（%）

	当月末	前月比
AAA	1.8	-0.3
AA	2.9	+0.1
A	6.5	-0.9
BBB	32.5	-1.1
BB	28.1	+0.9
B	18.6	+1.3
CCC	3.9	+0.7
CC	1.8	+0.1
C以下	0.1	+0.0
NR	2.6	+0.1



※ このページに記載されている構成比を示す比率は、「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」について、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄（%）　（組入銘柄数 219）

	銘柄 通貨/国・地域	種別	クーポン	償還日	格付け	比率
1	INDONESIA GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/インドネシア	国債	4.625	2043/04/15	BBB	2.2
2	U.S. TREASURY NOTES アメリカドル/アメリカ	国債	0.500	2025/03/31	AAA	1.8
3	EXPORT-IMPORT BANK OF INDIA アメリカドル/インド	社債	3.375	2026/08/05	BBB	1.7
4	EGYPT GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/エジプト	国債	8.500	2047/01/31	CCC	1.7
5	SRI LANKA GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/スリランカ	国債	6.125	2025/06/03	CC	1.6
6	MEXICAN BONOS メキシコペソ/メキシコ	国債	7.750	2031/05/29	BBB	1.6
7	PANAMA GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/パナマ	国債	6.400	2035/02/14	BBB	1.6
8	QATAR GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/カタール	国債	4.817	2049/03/14	AA	1.5
9	JORDAN GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND アメリカドル/ヨルダン	国債	5.850	2030/07/07	B	1.5
10	SERBIA INTERNATIONAL BOND アメリカドル/セルビア	国債	2.125	2030/12/01	BB	1.3

※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいています。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」について、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜マーケットレビュー＞

2月は世界的に金利が上昇しましたが、エマージング債券市場はプラスリターンとなりました。米国の利下げ期待は足踏みしたものの、ハイ・イールド債は投資適格債を上回るリターンとなり、エマージング債券はアフリカ諸国をはじめすべての地域で上昇しました。

米国では予想を上回るインフレ指標やFRB（米連邦準備制度理事会）高官のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な発言で、債券市場は軟調な推移となりました。日本では日銀はいずれマイナス金利を解除するとしても、緩和的な金融政策を続けるとの見方が強まっています。中国では低迷する住宅ローン市場を梃入れすべく、中国人民銀行（中国の中央銀行）が5年物の最優遇貸出金利を引き下げました。

新興国ではエジプト中央銀行がインフレ抑制とIMF（国際通貨基金）からの支援を受けるべく、政策金利を引き上げました。同国はまた、アラブ首長国連邦との間で地中海沿岸の開発に向けた350億米ドルの投資案件に調印しました。ムーディーズはイスラエルの格付けをA2に引き下げました。ハマスとの戦闘により債務負担が急拡大しており、財政および政治リスクがあると指摘しています。J.P.モルガンはベネズエラ国債および国営石油会社債を4月以降エマージング債券指数に再度組み入れる旨発表しました。

＜運用動向＞

エジプト、アルゼンチン、エクアドルなどがプラスとなりました。一方、セネガル、インドネシア、コロンビアなどはマイナスとなりました。

今月は、ケニアやパナマの新発国債を購入しました。アルバニア、アンゴラなどファンダメンタルズ（基礎的条件）の安定したフロンティア国（経済成長率は高いものの小規模で流動性が低い市場）のオーバーウェイトを維持しました。また、ファンダメンタルズに大幅な改善の見られるケニア、エジプトを追加購入しました。主要国では、割高なアラブ首長国連邦、マレーシア、ウルグアイをアンダーウェイトとしました。ナイジェリアやガーナなど、ファンダメンタルズが脆弱な国は引き続きアンダーウェイトとしています。また、価格が上昇したグレナダのウェイトを引き下げました。

＜今後の見通し＞

エマージング債券は、概ね健全なファンダメンタルズと高水準のプレミアム（保証料率）のため、他の資産クラス対比リスク調整後のバリュエーション（投資価値評価）でみて魅力的であると考えています。一方、現在のエマージング債券市場は、かなり買われてきていることもあり、米国のインフレ動向などには注意が必要と考えて

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2024年02月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」について、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

います。今後市場の混乱により魅力的なエントリーポイント（取引を開始するタイミング）が生じれば、確信度の高い国への追加投資を検討する方針です。また、エマージング社債には魅力的な投資機会があるとみており、通貨が下落した現地通貨建ての債券にも投資妙味があると考えています。セクター別では、メキシコ、チリ、フィリピンなどより質の高い新興国において、ソブリン債（政府や政府機関、国際機関などが発行する債券）と比べて高い利回りを有する準ソブリン債（政府系企業などが発行する債券）や社債に加えて、ファンダメンタルズの良好なBBB格～BB格の社債に引き続き投資機会を見出しています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

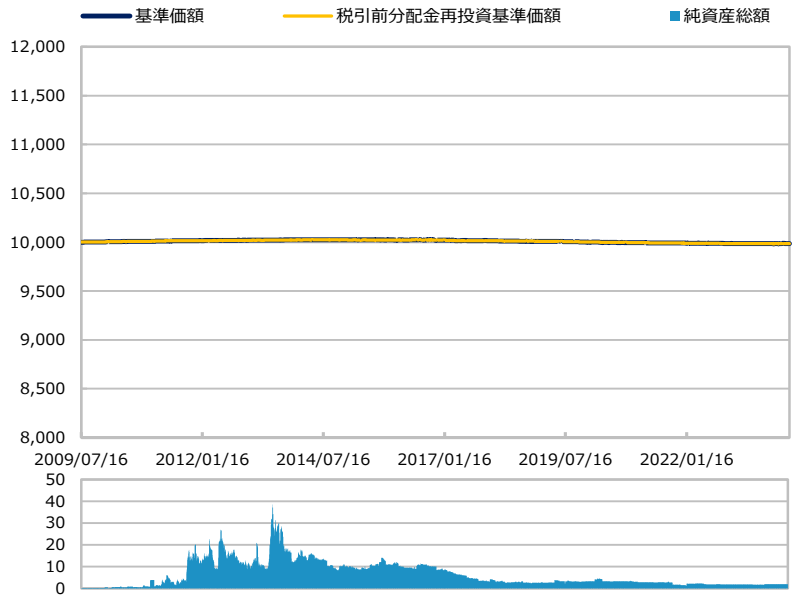
■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド マネープールファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／債券　　作成基準日：2024年02月29日

ファンド設定日：2009年07月17日

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	9,984	-2
純資産総額（百万円）	184	+0

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/01/31	-0.0
3カ月	2023/11/30	0.0
6カ月	2023/08/31	-0.0
1年	2023/02/28	0.0
3年	2021/02/26	-0.1
設定来	2009/07/17	-0.2

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第25期	2022/01/17	0
第26期	2022/07/19	0
第27期	2023/01/16	0
第28期	2023/07/18	0
第29期	2024/01/16	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
債券	70.4	+15.7
先物等	0.0	0.0
現金等	29.6	-15.7
合計	100.0	0.0

運用概況

当月末の基準価額は、9,984円（前月比-2円）となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-0.0%となりました。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。また、下記のファンドを総称して「通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド」といいます。

エマージング・ボンド・ファンド・円コース（毎月分配型）	：円コース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース（毎月分配型）	：豪ドルコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース（毎月分配型）	：ニュージーランドドルコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース（毎月分配型）	：ブラジルレアルコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース（毎月分配型）	：南アフリカランドコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース（毎月分配型）	：トルコリラコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース（毎月分配型）	：中国元コース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース（毎月分配型）	：カナダドルコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース（毎月分配型）	：メキシコペソコース（毎月分配型）
エマージング・ボンド・ファンド（マネープールファンド）	：マネープールファンド

1. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。
   - ●各ファンド（マネープールファンドを除く）は、ケイマン籍の円建て外国投資信託証券「TRP Global Emerging Markets Bond Fund（以下、「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」、または「GEMBF」）」と国内籍の親投資信託「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
   - ●各ファンド（マネープールファンドを除く）におけるグローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンドへの投資比率は、原則として高位を保ちます。
     ※当ファンドの信託期間が終了する数ヵ月程度前からは、キャッシュの保有比率を高くすることがあります。また、ファンドの資産規模等によっては、投資比率が高位とならない場合もあります。
   - ●グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンドは、主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を主要投資対象とします。
     ※グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンドにおける米ドル以外の通貨建ての資産への投資は、原則として、ファンドの純資産総額の20%以内とします。ただし、この場合は当該通貨売り、米ドル買いの為替取引を行うことを原則とします。
     ※グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンドにおける事業債への投資は、原則として、ファンドの純資産総額の20%以内とします。
   - ●グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンドは、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドが運用を行います。キャッシュ・マネジメント・マザーファンドは、委託会社が運用を行います。

   （マネープールファンド）
   - ●マネープールファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
     ※マネープールファンドへの取得申込みは、マネープールファンドを除く通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンドからスイッチングした場合に限定します。また、通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドに新たなファンドが追加された場合は、当該ファンドがスイッチングによるお買付対象ファンドに追加されることがあります。
     ※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。

2. 為替取引手法の異なる9つのコースとマネープールファンドがあり、各ファンド間でスイッチングが可能です。
   - ●マネープールファンドへの取得申込みは、マネープールファンドを除く通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンドからスイッチングした場合に限定します。
   ※今後新たなファンドが追加されることがあります。
   ※販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

ファンドの特色

※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いがない場合があります。
※通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンドのお取扱いおよびスイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。

3. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、毎月の決算時に分配を目指します。
●各ファンド（マネープールファンドを除く）の決算日は毎月16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
●委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

（マネープールファンド）
マネープールファンドは、年2回の決算時に分配金額を決定します。
●マネープールファンドの決算日は毎年1月、7月の16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
●委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
●運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
●投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
●当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】
一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】
ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

投資リスク

■ 為替変動リスク

＜各ファンド（円コース（毎月分配型）およびマネープールファンドを除く）＞

【円高は基準価額の下落要因です】

当ファンドは主要投資対象とする外国投資信託証券を通じて、実質的に米ドル建て資産に対して米ドル売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。そのため、円に対する取引対象通貨の為替変動の影響を受け、為替相場が取引対象通貨に対して円高方向に進んだ場合には、当ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、取引対象通貨で完全に為替取引を行うことはできないため、円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。

なお、取引対象通貨の金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと取引対象通貨との金利差相当分の為替取引によるコストがかかることにご留意ください。ただし、需給要因等によっては金利差相当分以上のコストとなる場合があります。

＜円コース（毎月分配型）＞

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

＜各ファンド（マネープールファンドを除く）＞

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- 各ファンド（マネープールファンドを除く）の主要投資対象の外国投資信託証券では、為替予約取引やそれに類似する取引であるNDF（直物為替先渡取引）等により為替取引が行われます。これらの取引において取引価格に反映される為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）/コスト（金利差相当分の費用）は、金利水準だけでなく当該通貨に対する市場参加者の期待や需給等の影響を受けるため、金利差から理論上期待される水準と大きく異なる場合があります。その結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や、金利市場の動向から想定されるものから大きく乖離する場合があります。

  また、取引対象通貨によっては、為替管理規制や流動性等により為替予約取引等ができなくなる場合や、金額が制限される場合があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

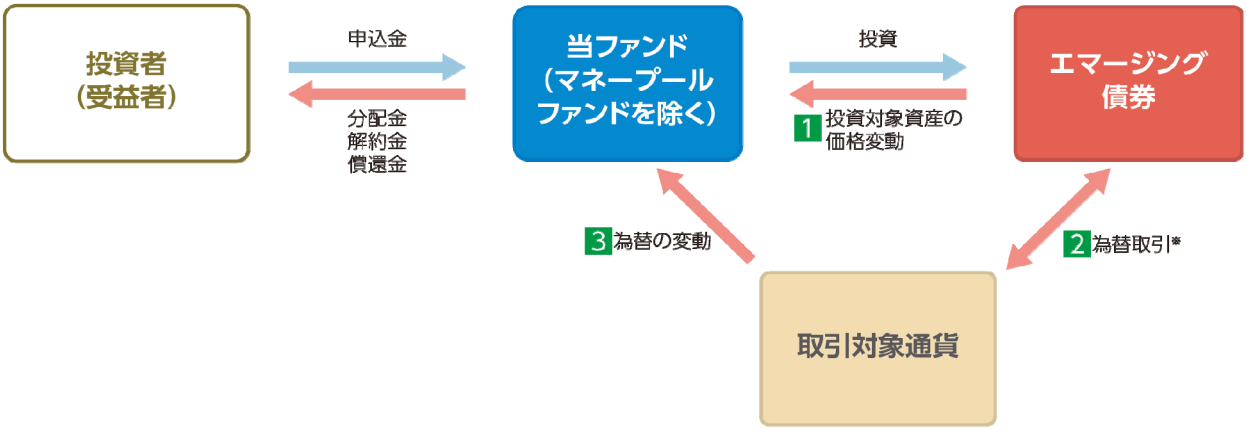
通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

■当ファンド（マネープールファンドを除く）は主に米ドル建てのエマージング債券への投資に加えて、為替取引を活用して運用を行うよう設計された投資信託です。

▶当ファンド（マネープールファンドを除く）のイメージ図



※円コース（毎月分配型）を除き、取引対象通貨の対円での為替リスクが発生しますのでご留意ください。

■当ファンド（マネープールファンドを除く）の収益の源泉は、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益の源泉には、リターンに相応したリスクがあります。下表の「損失やコストが発生するケース」をよくご確認ください。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
=	債券価格の上昇	債券価格の下落
1 エマージング債券の利息収入、値上がり／値下がり	金利低下 債券の発行体の信用力上昇 など	金利上昇 債券の発行体の信用力低下 など
＋		
2 為替取引によるプレミアム／コスト	プレミアム（金利差相当分の収益）の発生 取引対象通貨の短期金利＞米ドルの短期金利	コスト（金利差相当分の費用）の発生 取引対象通貨の短期金利＜米ドルの短期金利
＋		
3 為替差益／差損	為替差益の発生 取引対象通貨に対して円安	為替差損の発生 取引対象通貨に対して円高

※円コース（毎月分配型）は、原則として対円での為替取引を行い為替変動リスクの低減に努めます。
※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上図のとおりにならない場合があります。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

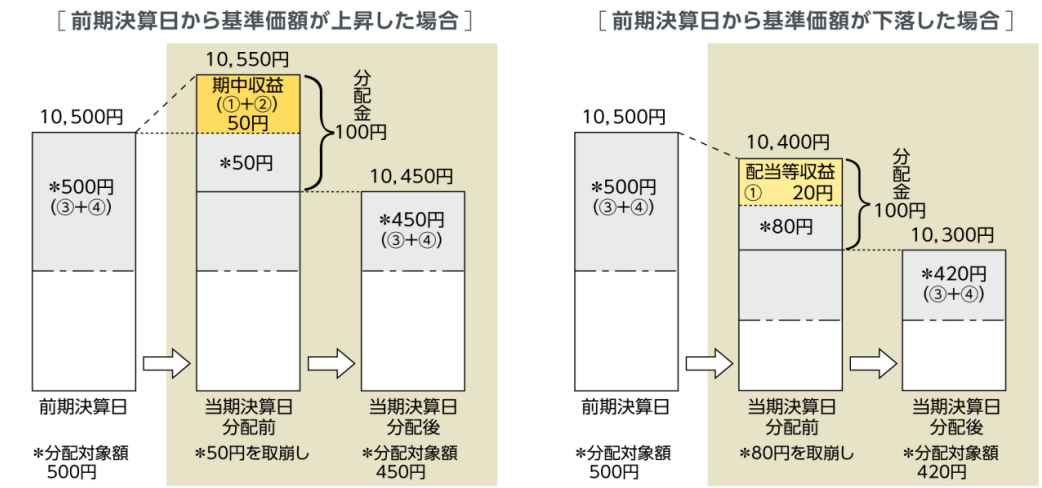
分配金に関する留意事項

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

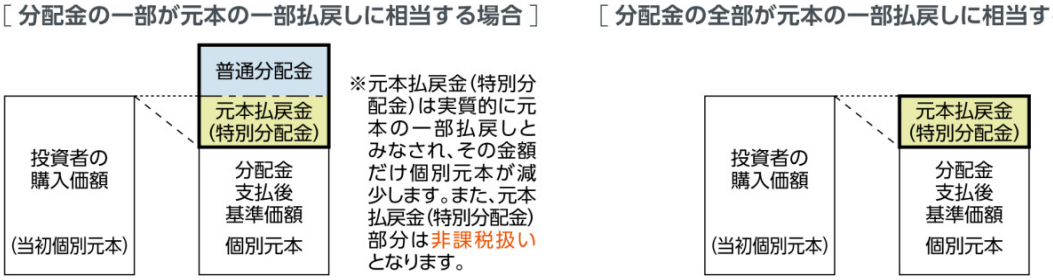
（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

■投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

（各ファンド（マネープールファンドを除く））
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
（マネープールファンド）
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

（各ファンド（中国元コース（毎月分配型）、カナダドルコース（毎月分配型）、メキシコペソコース（毎月分配型））を除く）
2024年7月16日まで（2009年7月17日設定）
（中国元コース（毎月分配型））
2024年7月16日まで（2010年2月1日設定）
（カナダドルコース（毎月分配型）、メキシコペソコース（毎月分配型））
2024年7月16日まで（2013年8月7日設定）

決算日

（各ファンド（マネープールファンドを除く））
毎月16日（休業日の場合は翌営業日）
（マネープールファンド）
毎年1月、7月の16日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

（各ファンド（マネープールファンドを除く））
決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
（マネープールファンド）
決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
（共通）
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- ●課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- ●公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に限りNISAの適用対象となります。
- ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

お申込みメモ

お申込不可日

（各ファンド（マネープールファンドを除く））

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨーク証券取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- 英国証券取引所の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンド間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料

（各ファンド（マネープールファンドを除く））

購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

（マネープールファンド）

ありません。

○ 信託財産留保額

（各ファンド（マネープールファンドを除く））

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.10%を乗じた額です。

（マネープールファンド）

ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）

（各ファンド（マネープールファンドを除く））

ファンドの純資産総額に年1.628%（税抜き1.48%）の率を乗じた額です。

※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、年1.718%（税抜き1.57%）程度となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。

上記の料率は、2023年7月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

（マネープールファンド）

ファンドの純資産総額に年0.66%（税抜き0.60%）を上限とする信託報酬率を乗じた額です。信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日間の無担保コール翌日物レートの平均値に0.66（税抜き0.60）を乗じた率とし、当該月の第1営業日の計上分より適用します。

○ その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

●監査法人等に支払われるファンドの監査費用

●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料

●資産を外国で保管する場合の費用　　等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※ NISA（少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）をご利用になる場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。また、販売会社での専用口座の開設等、一定の要件があります。
2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。なお、ジュニアNISAで新規の購入ができなくなります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 上記は、2023年7月末現在のものです。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　：　一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

※ 販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融商品取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
池田泉州ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第370号	○					
ａｕカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		※1
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
ＦＦＧ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○	○				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号	○					
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○	○				
寿証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第7号	○					
十六ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○					※1
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○		
とちぎんＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○					
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
西日本シティＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○					
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○	○		○		
浜銀ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○					※1
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○		○			
ほくほくＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○	○				
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第199号	○					
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○					
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○			○		※1
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○					※2
株式会社ＳＢＩ新生銀行（ＳＢＩ証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3 ※4
株式会社ＳＢＩ新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3 ※2
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○			○		

備考欄について

※1：新規の募集はお取り扱いしておりません。※2：委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社※3：ネット専用※4：委託金融商品取引業者　株式会社ＳＢＩ証券

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

作成基準日：2024年02月29日

※ 販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融商品取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
ＰａｙＰａｙ銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。